



最新マンスリーecoニュース&トピックス

●最近のニュース

民主マニフェスト・成長戦略発表 2010.06.17/ライター

民主党は6月17日午後、7月11日投開票の参院選に向けたマニフェストを発表した。菅直人首相が標ぼうする「強い経済、強い財政、強い社会保障」の実現に向けて、成長戦略や財政健全化を前面に掲げることが特徴。マニフェストに盛り込まれた成長戦略の内容は以下の通り。

●「強い経済」

- ・2020年度までの平均で、名目成長率3%超、実質成長率2%超の経済成長。
- ・政府と日銀が協力して集中的な取り組みを進め、早期にデフレを克服。

●主な環境関連の具体策

グリーン・イノベーション

- ・再生可能エネルギーを全量買い取る固定価格買取制度の導入
- ・効率的な電力網(スマート・グリッド)の技術開発・普及
- ・エコカー・エコ家電・エコ住宅などの普及支援
- ・2011年度導入に向けて検討している地球温暖化対策税を活用した企業の省エネ 他、ライフ・イノベーション、観光等13項目がある。

環境法改正情報

■廃棄物の処理及び清掃に関する法律が一部改正 2010.05.19

産業廃棄物の排出事業者が事業場外で産業廃棄物を保管する場合には都道府県知事への事前届出を義務づけ、建設系廃棄物については元請業者を一元的に排出事業者とした。また、都道府県知事には廃棄物処理施設に対する定期検査を義務付け、最終処分場の許可を取り消された者に対し、廃止基準に適合するまで引き続き維持管理を義務付ける等とした。産業廃棄物処理業者の許可の更新期間について、許可を受けた者の事業の実施能力及び実績を勘案したものとすることができることとする。また、法人の従業員等が不法投棄等を行った場合の法人に対する罰則を3億円以下の罰金に引き上げるとともに、立入検査の対象を土地所有者その他の関係者、車両、その他の場所にまで拡大し、措置命令の対象は基準に違反した収集運搬、保管まで拡大する等の改正を行った。

Ecobiz/ecolife エコビズ/エコライフ いまさら聞けない「家電・住宅エコポイント制度」 Series.3

1. エコリフォーム

窓の断熱改修・外壁・屋根・天井、又は床の断熱改修 ※これらに併せてバリアフリーリフォーム(手すりの設置、段差の改修、通路で入り口の幅拡張等)を行う場合は更にポイントが加算される。(平成22年1月1日～12月31日に工事着手したもの(平成21年度第2次補正予算の成立日以降に工事が完了したものに限り)

2. エコ住宅の新築

省エネ法の基準を満たし高効率給湯器などを備えるなどで、**トップランナー基準**(省エネ基準を、商品化されている製品の中で「最も省エネ性能の高いもの」の性能以上に設定すること)に達していることを住宅事業建築主などの第三者機関に認定してもらう必要がある。(平成21年12月8日～12月31日に工事着手したもの(平成21年度第2次補正予算の成立日以降に工事が完了し、引き渡されたものに限り)

発行エコポイント数は、新築では1戸30万ポイント(1ポイント1円相当)。リフォームでは窓の断熱1カ所が最大1万8000ポイント、外壁断熱が1戸10万ポイント、屋根・天井の断熱が1戸3万ポイント、床断熱が1戸5万ポイント、バリアフリー改修が1戸最大5万ポイントで、リフォーム1戸で最大30万ポイントを限度としている。発行されるエコポイントは、新築、リフォームともエコポイント対象工事に付加的に実施する工事の費用に充当する場合、即時交換できる。また今後発表される住宅版エコポイント交換対象商品と交換もできる。ポイント発行の申請期限は、新築工事では戸建て住宅が2011年6月30日まで、共同住宅が2011年12月31日まで、リフォームでは戸建て住宅、共同住宅とも2011年3月31日まで。発行されたポイントの交換申請期限は2013年3月31日までになっている。交換できる商品については、公式サイトに検索システムがあるのでエコポイント利用者は、是非活用してみてください。

http://jutaku.eco-points.jp/user/item/

営業に役立つ環境用語と豆知識

【グリーンイノベーション】

環境関連技術を武器にした産業戦略のこと。日本では太陽電池、電気推進車両技術、省エネルギー技術で世界最高水準の技術を持っており、こうした環境技術を産業戦略として推進していくことで、雇用を生み出し、ひいては経済の成長へと結び付けることになる。

走れ! エイトマン 京浜島マテリアルセンター
今回はKCCの主要機械をご紹介します。

※罰則と判例はvol.11までお休みします。



小型破砕機

機密性の高い書類及びフロッピーディスク、CD、DVD、輸液パック等を細かくせん断、再資源化物として適正処理します。

溶融機

発泡スチロールに付着しているガムテープ、シールを手作業ではがし溶融機の破砕室に投入、細かく破砕された発砲は80℃～100℃で溶融され、インゴッドに成形されます。近年、発砲スチロールは白色以外のものも多く、色別に溶融し品質の向上を図っています。

